

# はままつくらしの情報



## いいライフ

### サンプルのはずが意図せぬ定期購入に

2023. 5  
編集・発行  
浜松市くらしのセンター  
〒432-8032  
浜松市中区海老塚町51-1  
【電話相談】  
市民相談 457-2025  
交通事故相談 457-2233  
消費生活相談 457-2205

新聞広告の通販やテレビショッピングなどの電話注文時に、別の商品やサンプル等を勧められ承諾したところ、そちらが主契約の定期購入になっていたという事例が発生しています。



今月号では、意図しない定期購入の消費者トラブルと注意点を紹介します。

#### ◆ 事例 サンプルのはずが・・・

新聞の折込広告で通常の半額の「拡大鏡」を見つけ、販売業者に注文の電話をした。その際「目に良いサプリメントのサンプルを送る」と言われた。後日拡大鏡とサプリメントが届いたが、同封の「明細書兼請求書」には、拡大鏡が「プレゼント」、サプリメントが約3千円と記載されていた。その後2カ月連続、同じサプリメントが届いたので、おかしいと思い「明細書兼請求書」を改めて確認すると「1年定期」と記載があった。注文した覚えはない。(80歳代)



#### ◆ ひとつアドバイス

- たとえサンプルであっても注文品以外のものを勧められたら、興味がなければきっぱり断り、興味を持った場合も、注文する前に定期購入になっていないか等の詳細を確認し、説明が理解できなければ断りましょう。
- 商品到着後は、明細書などで定期購入契約になっていないか確認することが大切です。意図せず定期購入になっていたら、すぐに、販売業者に申し込んでいないことを伝えましょう。
- 困った時、不安に思った時、トラブルにあった時は、浜松市くらしのセンター等に相談しましょう。

(浜松市くらしのセンター：457-2205、消費者ホットライン188)

【参考・引用】見守り者新鮮情報 第447号(2023年3月28日)発行:独立行政法人国民生活センター



#### 毎年5月はフェアトレード月間、第2土曜日は世界フェアトレード・デーです

フェアトレードは、適正価格で継続的に取り引きすることで、生産者の自立と環境の改善を目指す取り組みです。この機会に、フェアトレードについて調べてみましょう。

浜松市公式ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)では、フェアトレードの教育教材、啓発資料、マップなど様々な資料を掲載しています。浜松市は日本で4番目のフェアトレードタウンです。



## エシカルコラム Vol.76 3R (リデュース・リユース・リサイクル)

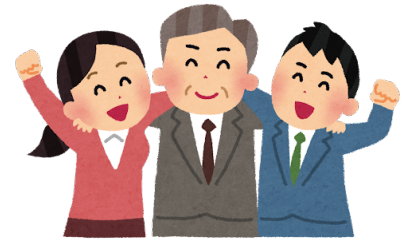


3R (リデュース・リユース・リサイクル) は、SDGs 達成につながり、エシカル消費※や環境問題への取り組みのキーワードの一つです。今月号と来月号の2回にわたり、3Rの取り組みについて紹介します。

※エシカル消費：人・社会、地域、環境に配慮した消費行動(買い方、使い方、捨て方)

### 一人の百歩より百人の一步

地球環境問題は、昔と今とでは大きく変わっています。例えば、1960～1970年代は一部の地域や企業による公害問題が主でした。しかし、21世紀の現在、この地球環境問題は、一部地域や企業だけの問題ではなく、生活者である私たち全員の問題といえます。では、私たちは環境問題に対して、どのような方法で取り組みれば良いのでしょうか？



3Rという言葉は聞いたことがあると思います。3Rとは、Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の頭文字を取った言葉です。

また、この優先順位で取り組んでいきましょうというものです。Reduce (=ごみの発生を抑制する) では、商品を買った時にレジ袋を貰わないことやマイカップ、マイ箸の持参など。Reuse では、繰り返し使う袋の持参やいらなくなったものをリユースショップに出品するなど。Recycle では、スーパーの店頭に置いている資源回収ボックスに、ペットボトル、食品トレイ、紙パックなどを持って行き、再資源化するなどの方法があります。

このような形で、少しでもごみになるものを減らす取り組みもその一つだと思います。

家庭の中で考えた場合、食品ラップは非常に便利で使い勝手もいいのですが、一度使うと廃棄されてしまいます。Reuse で考えるとラップの代わりになるものってどんなものがあるのでしょうか？蓋つきの容器やシリコンのラップなどは何度でも使えます。また、古くから使われている蜜ロウを使ったラップなど。それぞれの特徴を活かして使い分けをすれば、食品ラップの使用頻度も少なくなるのではないのでしょうか。

ただ、このような取り組みについては、関心がある人とない人とで、行動が違うと思います。何のためにそのようなことをするのかなどの啓発が非常に大切です。

というのも、環境問題は「一人の百歩より百人の一步」と言われるように、多くの人に知ってもらい、それぞれの人が理解して行動に移さないと広がらないからです。(次号に続きます)

【参考・引用】消費と生活 2023 1・2月 No.369 消費生活アドバイザー 中村 智恵美

主要生活物資価格調査結果は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」  
をご覧ください(<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html>)



消費者庁イラスト集より

春陽閑話 4月に春の陽気に誘われて、桜とネモフィラを見てきました。綺麗に咲かせるために多くの方々がお世話をされていることに感謝です。自然を愛でる気持ちはエシカルな心ですね。

